

容器名:W

内容

容器の貯蔵方法

常温

適用検査項目と採取上の注意点

病理組織検査

- 採取した組織片は乾燥させたり、ピンセット等で圧挫しないようにして、速やかに組織の10倍量を目安とした20%ホルマリン液入り容器に入れ、常温保存してください。
- 2種類の大きさの異なる容器を用意しておりますので、採取した組織の大きさに合わせて容器を選択してください。
- 免疫染色、遺伝子検査をご希望の場合は10%中性緩衝ホルマリンをご使用ください。
- ホルマリン固定液は各施設にてご用意ください。

